

第5回

東北被災地

参加無料
定員200名

語り部フォーラム 2025

～次の災害で大切な命を守るために～

Kesennuma

3/2日 3/3月

会場 気仙沼中央公民館
宮城県気仙沼市内ノ脇一丁目16番6号
TEL.0226-22-6760
及び気仙沼市内・南三陸町内・石巻市内



本年、東日本大震災発災から15年、また阪神・淡路大震災から30年目となります。昨年の元日には能登半島地震が起き、繰り返される災害に多くの人が心を痛めました。いどこで起きるか分からない自然災害、その時に大切な命を守るために私たちには何ができるでしょうか。時間が流れる中で変わり続ける思い、変わらない大切なこと、語り部として現在伝えたいことは何なのか、何を伝えていくべきなのか。世代を問わず多くの方々に知って頂きたい“命”の話しを、気仙沼の地で皆様と共有できることを願っております。

Survival Foods

サバ・メシ (サバイバル飯)
実演&試食



「仙台市泉地区女性防火クラブ連絡協議会」
会長/古内昭子様 理事/佐藤亜矢子様

3/2
(日)

▶ 震災を風化させないための語り部バス (気仙沼市内) 8:45 ~

▶ 開会 13:00 ~ 13:30

- ・オープニング/「浪板虎舞」
- ・主催者挨拶/実行委員長 阿部 隆二郎
- ・来賓挨拶/気仙沼市長 菅原 茂 様

▶ 基調講演 黒田 尚嗣 氏 13:35 ~ 14:15
(クラブツーリズム(株) テーマ旅行部顧問・(一社)日本遺産普及協会代表監事)

▶ パネルディスカッション 14:20 ~ 15:20

- ・コーディネーター/山内 宏泰 氏 (リアス・アーク美術館館長・学芸員)
- ・パネリスト/黒田 尚嗣 氏 (クラブツーリズム(株) テーマ旅行部顧問)
- 山内 明美 氏 (宮城教育大学教育学部准教授)
- 後藤 一磨 氏 (南三陸町文化財保護委員)

3/2 (日) 無料シャトルバス運行

予約制

- ▶【仙台駅】10:00発 —————【気仙沼中央公民館】12:00着
- ▶【気仙沼中央公民館】17:30発 ———南三陸ホテル観洋経由———【仙台駅】20:00着
- ▶【南三陸ホテル観洋】8:00発 —————【気仙沼中央公民館】8:40着
- ▶【サンマリン気仙沼ホテル観洋・気仙沼プラザホテル】8:30発 ———【気仙沼中央公民館】8:40着

3/3
(月)

オプションプログラム

気仙沼・南三陸・石巻を巡る語り部バス

- ・気仙沼市内/佐藤 誠悦 氏 (東日本大震災語り人)
- ・大川小学校/鈴木 典行 氏 (大川伝承の会共同代表)



▶ 分科会 15:40 ~ 17:00

～ KATARIBEを世界へ～

- ・コーディネーター/山内 松吾 氏 (KATARIBE World Network事務局長)
- ・パネリスト/北村 美和子 氏 (東北大学災害科学国際研究所 国際研究推進オフィス特任研究員)
- 加藤 英一 氏 (ツーリズムリアス代表)
- Jo Kyeonghui 氏 (東洋大学国際観光学科 学生)

～次世代トークセッション～

- ・コーディネーター/佐藤 敏郎 氏 (大川伝承の会共同代表)
- ・パネリスト/東北大学SCRUM
- 佐藤 光莉 さん (古川高等学校2年生)
- 三浦 大和 さん (気仙沼高等学校1年生)

～あの時、私は～

- ・インタビュアー/小林 裕 氏 ((一社)東北みらい推進機構理事)
- ・トークゲスト/木村 紀夫 氏 (大熊未来塾代表理事)
- 今川 悟 氏 (気仙沼市議会議員・元三陸新報社記者)
- 釘子 明 氏 (陸前高田市語り部くゞこ屋代表)

▶ クロージング 17:10 ~ 17:20

- ・宮本 肇 氏 (前北淡震災記念公園総支配人)

▶ 交流会 (サンマリン気仙沼ホテル観洋) 18:00 ~ 19:30

プログラムの詳細及び参加お申し込み方法は裏面またはホームページをご覧ください。

QRコードからも参加お申し込みいただけます!



【主催】「東北被災地語り部フォーラム」実行委員会 【共催】(株)阿部長商店観光部門グループ(南三陸ホテル観洋・サンマリン気仙沼ホテル観洋・気仙沼プラザホテル)

協力:(一社)気仙沼市観光協会/気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館/リアス・アーク美術館/震災伝承施設「命のらせん階段」を伝える会/(一社)東北みらい推進機構/南三陸ホテル観洋協力会/サンマリン気仙沼ホテル観洋協力会/気仙沼プラザホテル協力会

後援:気仙沼市/気仙沼市教育委員会/河北新報社/日本経済新聞社仙台支局/朝日新聞仙台総局/読売新聞東北総局/毎日新聞仙台支局/三陸新報社/NHK仙台放送局/tbc東北放送/ミヤギテレビ/仙台放送/khb東日本放送/エフエム仙台/ラヂオ気仙沼/大川伝承の会/海の見える命の森実行委員会

■南三陸ホテル観洋ホームページ URL▶<https://www.mkanyo.jp/> (フォーラムの詳細を随時UPいたしますのでご覧ください。)

【プログラム】

2025年3月2日(日) ■場所/気仙沼中央公民館

オプション 震災を風化させないための語り部バス 「気仙沼中央公民館」発着 ※入館料・昼食は実費
Aコース (8:45) 出発⇒気仙沼市復興祈念公園⇒リアス・アーク美術館⇒震災伝承施設「命のらせん階段」⇒気仙沼中央公民館11:35着
Bコース (8:45) 出発⇒震災伝承施設「命のらせん階段」⇒気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館⇒気仙沼中央公民館11:20着⇒(11:45) 気仙沼中央公民館発⇒海の市 (12:45) 海の市発⇒気仙沼中央公民館

第1部 開会 13:00 ~ 13:30
●オープニング/「浪板虎舞」
●主催者挨拶/阿部 隆二郎 (東北被災地語り部フォーラム実行委員長/株)阿部長商店 南三陸ホテル観洋 代表取締役副社長)
●来賓挨拶/気仙沼市長 菅原 茂 様
基調講演/旅から学ぶ 災害を生き抜く知恵 ~「つなぐ・伝える」日本の自然と文化~ 13:35 ~ 14:15
●黒田 尚嗣 氏(クラブツーリズム(株) テーマ旅行部顧問・(一社)日本遺産普及協会代表監事)

第2部 パネルディスカッション 14:20 ~ 15:30
●コーディネーター/ 山内 宏泰 氏 (リアス・アーク美術館館長・学芸員)
●パネリスト/ 黒田 尚嗣 氏 (クラブツーリズム(株) テーマ旅行部顧問)
山内 明美 氏 (宮城教育大学教育学部准教授)
後藤 一磨 氏 (南三陸町文化財保護委員)

第3部 分科会 15:40 ~ 17:00
~ KATARIBEを世界へ~
●コーディネーター/ 山内 松吾 氏 (KATARIBE World Network事務局長)
●パネリスト/ 北村 美和子 氏 (東北大学災害科学国際研究所 国際研修推進オフィス特任研究員)
加藤 英一 氏 (ツーリズムリアス代表)
Jo Kyeonghui 氏 (東洋大学国際観光学科 学生)
~次世代トークセッション~
●コーディネーター/ 佐藤 敏郎 氏 (大川伝承の会共同代表・(一社)スマートサブライゼーション理事)
●パネリスト/ 東北大学SCRUM
佐藤 光莉 さん (古川高等学校2年生)
三浦 大和 さん (気仙沼高等学校1年生)
~あの時、私は~
●インタビュー/ 小林 裕 氏 ((一社)東北みらい推進機構理事)
●トークゲスト/ 木村 紀夫 氏 (大熊未来塾代表理事)
今川 悟 氏 (気仙沼市議会議員・元三陸新報社記者)
釘子 明 氏 (陸前高田市語り部くごこ屋代表)

クロージング 宮本 肇 氏 (前北淡震災記念公園総支配人)

交流会 場所:サンマリン気仙沼ホテル観洋 18:00 ~ 19:30

3月3日(月) ■オプションプログラム ※参加無料 ※昼食は実費
気仙沼・南三陸・石巻を巡る語り部バス (リレー方式の語り部)
[9:00] サンマリン気仙沼ホテル観洋⇒[9:05] 海の市⇒
⇒佐藤誠悦氏による気仙沼市内語り部⇒
⇒[11:00] サンマリン気仙沼ホテル観洋⇒
⇒[11:15] 海の市(昼食)⇒[12:30] 出発⇒
⇒[13:05] 高野会館案内⇒
⇒[13:40] 南三陸ホテル観洋⇒[13:50] 出発⇒
⇒[14:45] 大川小学校 鈴木典行氏による語り部⇒
⇒[15:45] 出発⇒[16:15] 石巻駅⇒
⇒[17:40] サンマリン気仙沼ホテル観洋解散

語り部フォーラム2025参加申込書 ※会場準備の都合により、事前の参加お申込みにご協力ください。 2月24日(月) まで (会場が定員になり次第締め切りとなります)

Form with fields for Name, Address, Telephone, and checkboxes for participation options (A/B courses, 1st/2nd/3rd part, exchange meeting, 3/3 program).

南三陸ホテル観洋フォーラム事務局 TEL.0226-46-2442 FAX.0226-46-6200 Eメール:minamisanriku@kanyo.co.jp

※必要事項はすべてご記入ください。
※グループの皆様もお手数ですが個人毎にお申込下さいませ。
※プログラムについてはフル参加又は選択したセッションのみの参加も可能です。

【宿泊について】
■サンマリン気仙沼ホテル観洋・気仙沼プラザホテル
【2館共通予約センター ☎0226-22-1660】
■【南三陸ホテル観洋 ☎0226-46-2442】
Includes QR codes for Sanmarin, Kesennuma Plaza, and Nanamurayama hotels.